

久米健次教授最終講義のご案内

今年の3月末をもって、久米健次教授(前学長)が定年退職されることとなりました。

久米先生は昭和51年6月に奈良女子大学理学部に着任以来、物理学教室で教育研究に携わってこられました。また、平成11年4月からは評議員、平成12年4月からは副学長に就任され、平成15年4月からは第9代の学長として平成16年の国立大学法人化への移行を統括されるなど本学の発展に尽くされました。平成22年に任期満了で学長ご退任ののちは、学部に所属しない全学担当教授として教育研究、あるいは社会連携活動に携わられました。

久米先生の御退職に際し、下記のように最終講義と茶話会を計画いたしました。年度末の慌ただしい時期ではありますが、多数ご来聴賜りますようお願い申し上げます。

記

【最終講義】:平成25年2月9日(土) 13:00-14:30

記念館2階講堂

【茶話会】 :平成25年2月9日(土) 14:50-16:20(最終講義に引続き)

文学部南棟1階ラウンジ

【茶話会会費:当日受付】 1000円(在校生は無料)

【最終講義概要】

約40余年の間、原子核物理の理論研究に携わってきました。学園紛争当時の学部の卒業研究に始まるこれまでの研究生生活を振り返ると、ずっと、「風変わりなこと、驚きや意外性のあること」を探し続けてきたような気がします。量子世界の波動の干渉現象を軸に、研究の紆余曲折をお話させていただきます。現在、大学の管理運営から離れて研究者に戻り、今までの専門とは異なる新分野での研究活動をしたいという気持ちに駆られた日々を過ごしています。そんな「六十の手習い研究？」の方向についてもお話します。さらに、学長時代に考えたこと、あるいはそれと関連して、変貌する社会環境の中での大学やそこでの教育の事などについても率直な感想をお話したいと思います。

最終講義連絡先:奈良女子大学理学部物理科学教室

比連崎悟

(Tel: 0742-20-3373 e-mail:zaki@cc.nara-wu.ac.jp)